



# 未来に責任



— 変わらぬ志 これからも！！ —

兵庫県議会議員

川西市・川辺郡選出

# 越田こしだけんじろう

## 活動レポート 2017.6

Topics1

## 教員の多忙化を解消し、子どもに向き合う時間を

本年4月、文部科学省の「教員勤務実態調査」が公表され、「過労死ライン」を超える週20時間以上の超過勤務を行う教諭が中学校で約6割、小学校で3割以上に上ることが明らかになりました。

兵庫県においても、教職員の多忙化は深刻な問題であり、中学校教諭は平均で平日1日あたり3時間31分、1週間で26時間15分の実質的な超過勤務を行っています。また、小学校教諭は平均で平日1日あたり3時間7分、1週間で17時間17分となっています。

教職員が多忙化する要因は、授業時間の増加に加え、報告書作成等の事務作業、さらにクラブ活動時間の増加だと分析されています。

現在、兵庫県教育委員会では、業務のIT化などの業務改善のほか、「定時退勤日」や「ノー部活デー」を設けるなど、超過勤務の縮減に取り組んでいますが、必ずしも成果が表れているとはいえません。つまり、仕事のあり方を抜本的に変えていかない限り、本質的な解決にはつながらないのです。

私が教員の多忙化を問題視するのは、**教職員の健康管理の問題はもとより、多忙化によって本来の教職員に求められる「子どもと向き合う時間」が削られる可能性があるから**です。

そこで、私が政調会長を務める「ひょうご県民連合」では、6月議会の代表質問において、教職員の多忙化対策を求めています。具体的には、**①学校現場における業務を洗い出し絶対量を削減する ②教職員が行っている業務のうち、本来業務以外は外部化する ③教職員やスクールソーシャルワーカー等を増員することが必要**です。

また、学校現場において、管理職が教職員の超過勤務の状況を十分把握できていないとの声もあります。教職員が子どもに向き合う時間を確保するためにも、業務の改善と同時に管理職による適切な労務管理による多忙化の解消に取り組んでまいります。

【2016年度の小中学校教員の平均勤務時間(全国版)】

中学校	平日	土日	1週間
教諭	11時間32分	3時間22分	63時間18分
副校長・教頭	12時間6分	2時間6分	63時間36分
校長	10時間37分	1時間59分	55時間57分
小学校	平日	土日	1週間
教諭	11時間15分	1時間7分	57時間25分
副校長・教頭	12時間12分	1時間49分	63時間34分
校長	10時間37分	1時間29分	54時間59分

文部科学省「教員勤務実態調査」